

19

366

日向國產擴張策

042055-000-6

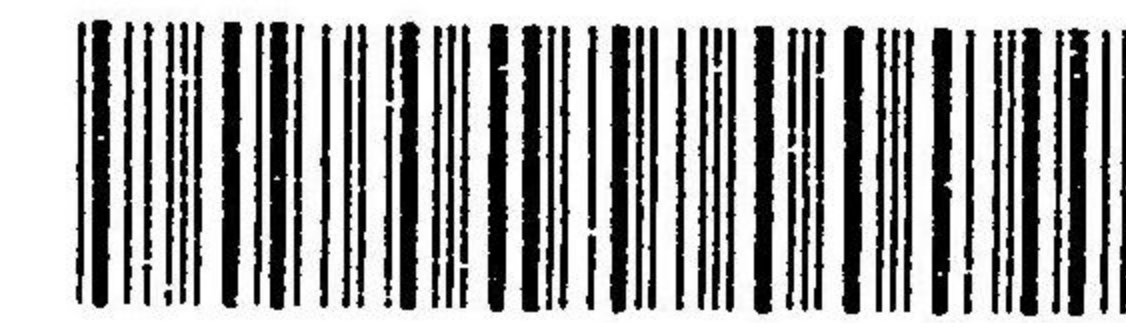
19-366

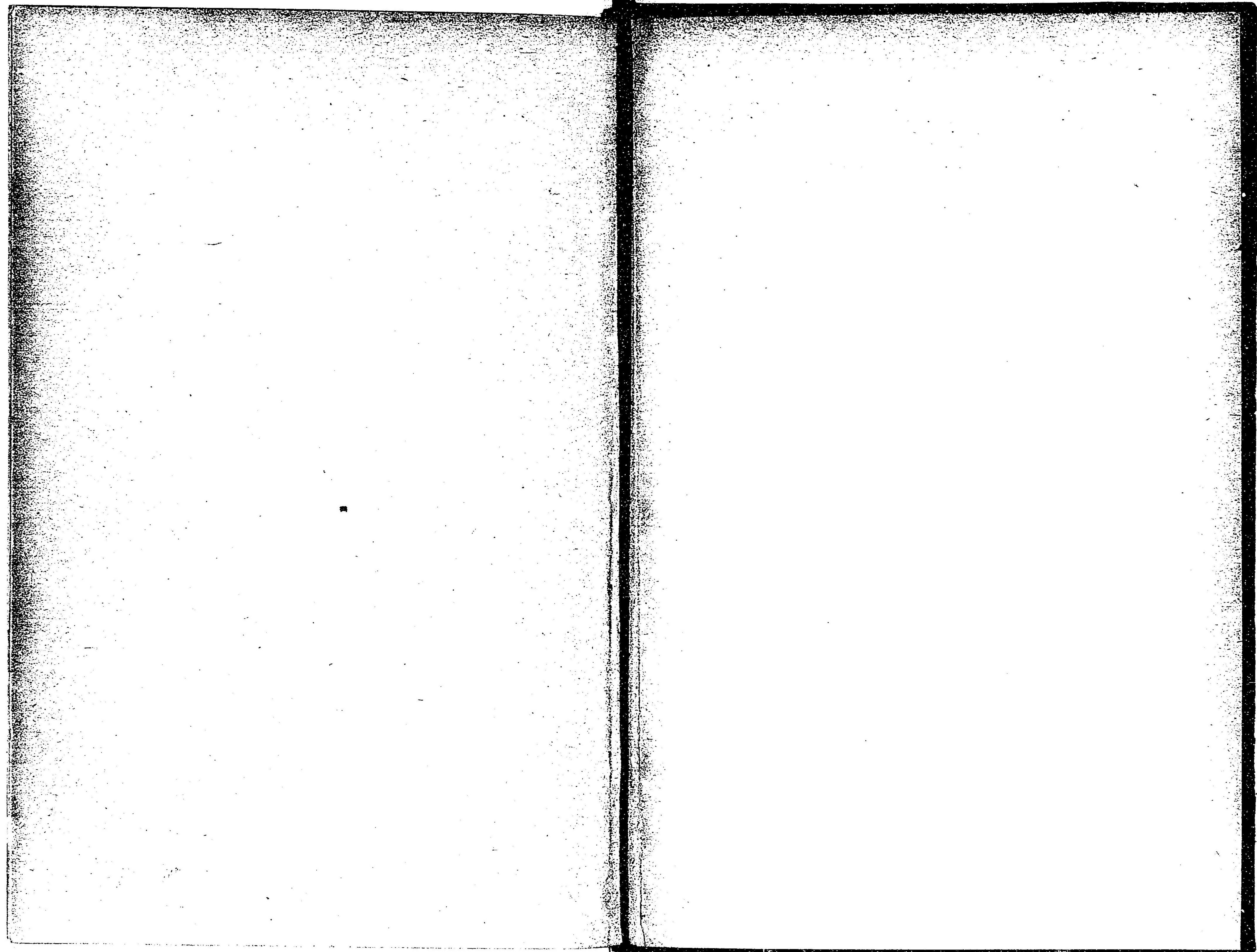
日向國產擴張策

大羽 豊治 / 編

M26

BDI-0855





緒言

余會て商業社會の形勢に注目すること茲に數年此間
書籍に就き或は學者の意見を聞き或は實業家
又或は自己の經驗に訴へ杯として聊か悟る所あり



一聯の志想となり常に世人に向て談
話することなれり然るに頃日友人柳條子速記者を
連れ來りて余が持論の次第を速記さすから演說せよ
と進むること最も切なり余素より奇を貴ふに非らざ
妙を喜ぶに非らず常に云ふ所は只これ將來の商業界
にハ斯レの覺悟なかるべからざと云ふ位のみと子
曰く凡る目今商業界に對する説論は先哲學者の唱導

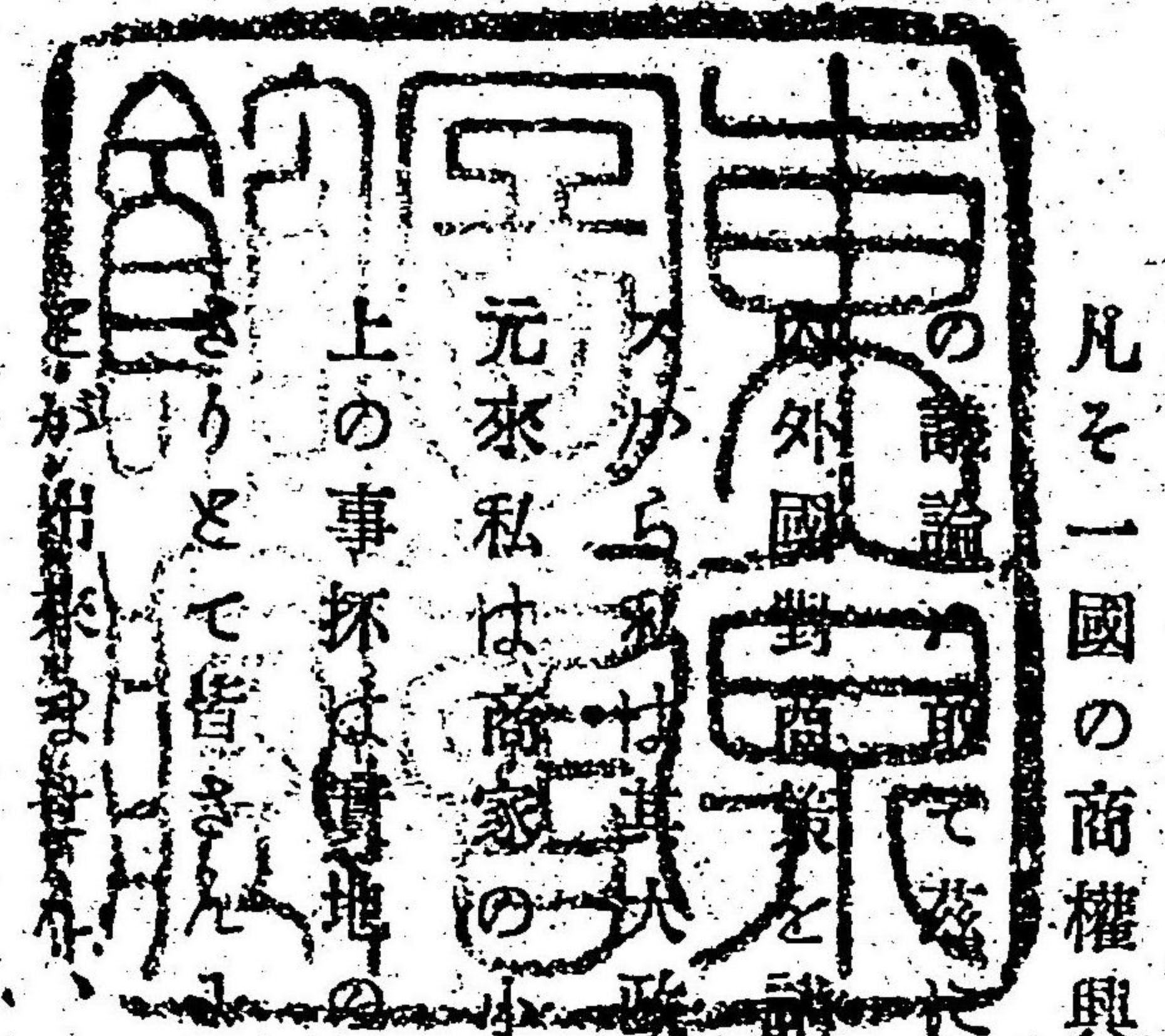
する所のもの甚だ多く、實驗家の論議に係るもの極め
て尠なく、公平の議論を有し、高尚の識見を抱きたる學
者の言論は固より貴ぶべき所なれども、實地の經驗よ
出る意見をも更に一層の價直を有し、且つ着實の言語
大ま世に裨益あるを信ぜ、況してや現今日尙國産上に
關る急務なる意見を承知し居れば之を速記して一小
冊手に仕立今回の歸國を幸ひ齎らし、去つて國土産と
なせよと云ふに在りや、膝を進めて余に諮る、余敢て當
らずと雖も大に其意の得る所なれば、左らは演說せん
と立上りたるもの、聽衆少なくて極り悪くも漸やく
説了りぬ故に其説く所の説を亦隔靴の感をきを保せ

定然れども速記して之を寫したるものなれを、恰も言
辭の寫眞の如く毫くも變りたる所なく、扱も役廻りの
わるさよと獨り呟やきたるも後の悔ひ、今更如何とも
詮術なく、兎に角子の意見に従ひこれを印行すること
、いたしたり、若夫れ誤れる所あらは教示を垂れよ教
示は實に余が研究の中に在り蓋し之を有士諸君に呈
し幸に翼賛せらるゝ資となれば余が満足する所あり、
示時明治廿六年二月廿一日大阪西長堀橋畔旅寓
於て凧笛歸郷を促す時、匆忙此顛末を記して緒言に代
ふ 大羽豊治志るす

日向國産擴張策

大羽豊治 演説速記

第一席



凡そ一國の商權興廢盛衰は其國力消長休戚に關係すると云ふ學術的の議論、取て茲に多辯を要せざると、思ひます、如何となれは是等外國對商策を講談論議するの大政治家の任で御座います。ア、元來私は商家の僧である丁稚である日向の炭焼であることに商業上の事柄は實地の經驗に乏しく實に取どめのなき人物で御座います。さりとて皆さん、御見捨て、貰ふて、此社會に一個人として立ち、とが附来ませう、諺に云ふ一寸の虫も五分の魂いと尺取虫の縮むの伸の精神とか申ますから私も生涯商店の子僧丁稚を愉快として暮すものでなく、又日向の炭焼を安逸とまで甘受する精神でも御座い

ません、去れば私は其名稱の如何には毫も顧着致しません、飽迄
 實業にて生涯を送る考へで……所謂勞して金儲けを仕度いといふに
 外なりません、即ち實業を以て世に卓識ある人々でも間直接を問は
 ず社會の爲めに身力を尽す所なければ終に其人の名譽も高からざる
 やうなものであらうと思ひます、故に實業家と云ひ官吏と云ひ苟く
 も此社會を生活して一の目的を有し其事に従ふ以上の宜しく其方針
 に向つて専心直入の精神を以て身力を尽さなくては豈に其成就を期
 すと同時に己のが名譽を博することの出來ないかと考へます……ソ
 コで私の其名稱の如何を問はず時勢の變遷進化に伴隨去て既往を鑑
 み將來を慮り行路の障礙を排して一直線の方針を徹底する覺悟をく
 て到底目的をして彼岸に達せしむる事の出來ないかと茲に觀念し
 たので御座います、

總て商業家の一盛一衰の忽ち國家經濟上より一大影響を與ふる原則が

支配しますから其責任は決して輕いものでは御座いますまい、殊に
 商賣上に誠實といふ事が甚だ必要であらうと考へます、或人の凡そ
 商家の仕事は其七八歩は虚言を働かすに非ず、金儲けの出來ぬと申
 ました、一應尤もなる様おもはれますが、私の是等商人の或の物の掛
 引上方便といふ事を混同誤解し居るもの、言たるに相違ないと思考へ
 ます、私のいふ誠實の意味する所は此の如き不詮義を以て御座い
 ません、商人が物、其物に對し價直なきものをあると云ひ又價直ある
 ものをないといふが如き瞞着、詐言の仕事をする商人に對して、此誠實
 といふ考へを懷ひて貫きたいので、御座います……去ながら是等瞞着
 詐言に陥り損益を争ふ如き商人は實に幼稚の商人である、人智未發
 の時代に在りて恰も暗夜に黒牛を放ちて探ると索一般なる人とい
 わなければならぬと思ひます……苟くも人智發達したる時代即ち今
 日の人文開發の商人たちに對しては鳥渡行はれ難い仕事かと私はい

ふを憚りません、若し斯る仕事を行はんとする商人のありと假定するも左様な迂遠の事では世上に立て商人或は實業家として意張ることの斷して覺束ない時勢かと思ひます、また左様なる不誠實の到底似續する譯の御座いません、日を逐て絶滅するをせう……

私は郷國の事故殊更常に目を日向と云ふ一國の上に注ぎ累年商事に關し取調べたるもの夥多ある中に就き猶は日向商人の爲め一國の爲めに聊か抱持したる身見も御座いまして、今之を吐露するに際り日向國產擴張策と題を置きましたの敢て日向商人に裨益するところないとも思はれないかと考へます、惟ふに日向と云ふ國の皆さんも御承知の如く南北四十里餘巾員凡そ二十里も御座います、其面積は四百三十方里餘と郡九郡に亘り、明治十七年の統計に據れば地目反別二拾九万四千八拾六町餘内拾壹万貳千六百四拾貳町は官有地にして拾八万壹千八百四拾四町民有地なり而して二十一年調の有税地は

拾七万五千八百町餘あり、其現在の人口を問へば四拾万あり今之を二三の例外國を除きましては甚だ住民の欲乏を感じるかと思はれます、試みに隣國大分縣の如き或は伊豫の如き或は阿波の如き國柄と比較したらんには必らず我が日向國の現在の人口へ二倍の移住民あるも敢て差支へなしと斷言するを憚りません……又私の喋辯を俟すとも凡そ一國の上に着眼せらる、人士の業に既に之を了得し居らるゝこと、信します、

昨年大阪の紳士廣瀬氏が日向漫遊の際に見聞したる手記を大阪毎日新聞紙に日向植産私見論として登載しあるを熟讀せられたる諸君の既に御承知で御座います、私は其頃大阪に在りて彼の毎日新聞に登録あるを見て流石の廣瀬氏其卓見の周到なるに一驚を喫し、彼の一記事は日向人の爲めに余程將來に價直あるを以て當時心私に廣瀬氏に向つて謝しまして御座います、全体日向とさへ言へば世人は

炭焼といふ觀念の腦漿に感じますのには日く原因のある事かと思ひます、今日の如く交通便利ならざる以前即ち維新前迄は他國への交通は漸く炭船あるのみにて偶々京阪地方より出掛る人々も此炭船の便を假りて航通した位で御座いました、維新後社會全般の進歩と共に我が日向も航通の便利余程よくあり今日は汽船電信の便もあり維新前の暗淡鬱屈の時代とは大に其趣きを異にいたしましたれば彼の炭焼の名稱漸次其跡を絶に至らんと思ひます、これ全く航通の便を得しに歸因するものあらんかと深く悦んで居ります、然れども今尙ほ此炭焼といふ名稱の偶々耳にするのいまだ全く交通其他の開明に後れたる例証なりとは云へ之を既往に溯りて考へば甚た其名稱の漠然たる一の流言に外ならんと考へます……彼の廣瀬氏の私見論中日向の將來に富國なる事を併せて日向の炭焼といふ名稱は一日も早く除却せねばならぬ又此名稱を世人に附せらるゝ、等のないこと、云れまし

た、私も同感で若しも此名稱が何日迄も世上に存しあるものとせば實に歎息に堪へません、諸君は此名稱も就き如何なる考へを懐かるゝや定めし私と同感の志士多數を占め居ること、考へます、又同感でなくては日向人たるもの、志士での御座いますまい、必竟此名稱たるや地理に迂濶の人々が云ふのであつて幾分か日向國を輕侮する意味の含有し居るものかと考へます、故に日向人は一層奮發心を起して貰ひたひのと同時に今少くも國柄に就き陳辯せざるを得ん事が湧て出でました、

抑も日向國は商賣地であるか、植産地であるかと問ひんに諸君の如何と答へらるゝぞ、私の斷じて植産に適したる地と言ふに躊躇致しません……何んとなれば氣候温暖にして土地豊穠なれば未だ開墾等の行届かぬ廣漠の地多きと是亦世人の知る所せう、さらば日向國は商賣地と云ふも至極地適稱に背かざるものと信じます……

此の如き多望なる土地柄にも拘はらず百般の事業發達せざる所以の
藩閥割據の時代に溯り陸索を遂ぐれば其原因の諸般に涉りて然るが
如しと雖も今日之を説明する必要が御座いませぬから述べません、
私が既に前に述べましたる如く現在の人口より二倍の移住民あるも
敢て差支へかゝいと申したのは茲に着目して居る故で御座いませう
……徒らに開拓事業を唱導する内にも一も二もあく單に北海道にの
み勸奨するものが御座いますが、嗚呼迂濶の考へさよ前途多望なる
開拓地の脚下に伏するあるに眼光が届かないのか、進んで來れ我が
日向國に、進んで開け我が日向國を、私の述ふる如く氣候の暖和、
土地の豊穰なる隨つて開墾に申分なきことハ飽迄保証して宜しい、
今試みに北海道の土地柄を見給へ、一年僅に六ヶ月を稼き獲る六ヶ
月の休業せねばならぬ、我が日向國の如きの一年三百六十餘日其
稼きを中止する心配はなく即ち北海道の三ヶ年間の稼業は日向の一

ヶ年半にて済む勘定で御座いますから利益上より云ふも棲息上より
云ふも今私が日向へ移住民の便益あるを説くと同時に我が日向國人
の勿論汎く世人に向つて之を勸奨するも餘り無益なる注文でも御座
いますまいと考へます……今様ある國打にて今日物産の生出に至り
ては重々林産物即ち木炭、材木等其多額を占ると雖も近來農産物の
如きも餘程進歩したるもの、如く思ひます、如何にとなれば明治十
八年乃至廿二年の統計は據るも輸出入の物品殆んど三割余の進歩を
爲し殊に二十二年の統計輸出品は幾んど八拾貳萬圓餘に達し就中砂
糖の如きは僅々四五年を出ずして貳拾萬圓餘の著しき産額を見るに
至りました、之れ或る農學士が我が日向國の甘蔗糖は最も適地な
りと云ひし實説に背かおかつたと思ひます、然るに日向砂糖の多額
産物となる見据ぬあるにも拘はらず日向砂糖として大阪市場に販賣
し居るもの、少なき原因を調べて見ると是迄讀岐人の手を経て讀岐

砂糖として販賣し居るに因ると云ふ有様で御座います、而して翻て砂糖精業者の状況を觀察するに自國の物産を他國の産物として世上に名譽を博するも貴重なる商權を他國人に掌握せらるゝも恬として顧みざる有様で實に慨歎の至りでの御座いませんか、目を刮て砂糖の將來を下し來らは甚た好望ある産物で御座います、西人或は曰く「一國內に消費する砂糖の多寡は即ち其國開明の尺度あり」と申しました、蓋し我が國二十年の既往に溯りて見ると都市以外の食膳の料理に砂糖を用ひしは甚た稀れで御座いましたが、今日の却りて之を用ひぬものが少なくなりて忝りました、故に國內の産額を擧て需用に應ずるに足りない所から外國より輸入を受けること實に莫大の金額で統計表で見ると綿絲、綿布の次に居り而して今後年を追て益々需用の増加することは從來に徴して明らかで御座います、當業者は宜しく猛省して巧み栽培製糖の改良を謀り美良品を出して外品を壓倒す

る計ことをせなければならん折柄かと考へます、況してや甘蔗糖適地の國柄で御座いますから何に致せ早く改良の緒に就かねばありませぬ、其他の生産物も亦同じく漸次進歩して忝りました……序でながら茲に統計の事、就き一言述置たいのは全体日本の統計杯と云ふものは實に不完全なものであつて、私に此の統計を證據立て、論ずる積りでの御座いません……聊か實地に就て取調たるものから可成證據立てを致す積りで御座います、凡そ一國の上に就き事を論議説明するに際りては是等統計を證據立てるの止を得ざるに出たる次第で御座います、

次に運輸交通の便否に就き聊か卑見を有し居りますが、是等は必竟一國の經濟上事の緩急に従ひ漸次歩武を進むるに非されば反りて害を招くものかと考へます……近頃漸く國道貫通するに至りしも其港灣に至りては未だ自然港に由りて聊か便利を得居るもの、人工の開

整との極めて不完備であつて毫も利便を得る事が出来ません、最
 も東海、土々呂、細島、美々津、今町、油津及び赤江の六港の御座
 います、皆天然港で御座いまして人工を加へて修築せしものと
 ては御座いませぬ、漸く土々呂、細島、油津の三港を除く外は汽船
 の航通を欲き随つて運輸交通の利便を閉塞し居るは日向國の爲め誠
 に遺憾のこと、思ひます……近頃日向南部の有志者は赤江港築鑿の
 事に關し種々計畫のあることを耳よして居りましたが果せるかな頃
 日一二の有志者が大阪商船會社に對し、協議し、居らる、や、を聞きまし
 た、私ハ是非此の舉をして始終完成して貰ひ度と彼の有志者に向て
 企望し置た次第で御座います……其他の港灣も亦機に處し時に應じ
 て着々斯る美舉の續出せんことを敢て企望の至りに堪はせせん、
 社會の優勝劣敗の支配を受くるものでありますから……ソコテ諸君
 又向つて注意を促さ置たいのハ既に鐵道の如きも日本全國に蔓延す

る勢であり且つ航海業の如きも益々盛んになる有様で御座います、
 ば此日向國も今より數年を出ずして鐵道の敷設あるに相違ありませ
 ぬ、果して其曉に至らば遽かに國の形勢も一變を之と同時に航通に
 便宜ある港灣の近接に勢ひ停車場を設け一所面目を與ふること、考
 へます、今近く試みに二三十年前を溯つて汽軍漁船のなき時代は於
 る商業社會の有様を追想し來らば實に迂遠不便利の甚たきかりしこ
 との餘りあるを覺へるで御座いませう……此迂遠不便利と云ふ中に
 は不利益不愉快の伴へるものであつて、假令は粗悪なる物品に高貴
 の價を拂ひ慾望する物品も容易く手に入ることの出来なかつたので
 せう、獨りこれのみならず一國交通運輸の開けなかつた時代には或
 所に餘れる物品の去つて他の足らざる所の需用を満すこと、出来な
 かつた所から其餘れる所の物價は下落するに引換へ其不足なる所の
 全く正反對の結果を現はし非常の高價とあることハ運輸交通の開け

ざる社會に於て往々見聞する現象であつて、況して日向の現時とて
 む既に此餘響を蒙むることの多い次第で御座います。から諸君は今よ
 り豫め其覺悟を有して貫ひ度ので御座います。

却説で辯じて茲に至ると覺ゆす種々を感情が湧て出てまして長談義
 とあり甚だ相濟ませんが、是も自國を愛する切情と御合点を仰がな
 ければなりません、今ま日向人士に諮らねばならむと思ふことは一
 体此の暖國に生れた人は進取活潑の氣象に乏しく随つて惰民の詐り
 を免かれぬやの一事で御座います。惟ふに此の日向と云ふ國に生れ
 た人々は少し古べた御咄しにいあれど何事によらず我が日本全國人
 の率先者となり総て他國人に秀た精神を有せねばならないと云ふ責
 任ある國柄かと考へます。：：開は如何よと云ふに恐れ多くも皇祖
 始めて此の地に御降臨遊ばして六合を照し四民を統御し賜ひ萬象の
 基ひを啓かせたるは此の日向國で御座いませう、左すれば荷くも日

向國民たるものゝ我が全國民の主位に立つて事業の啓發者となり率
 先者となり誘導者となりて奮勵努力心を喚起するの責任を荷ふたる
 ものと云ふも歴史に徴して明らかなる者であるかと考へます、併しなが
 ら既往は兎も角將來に於て施す事物には始め盛んに於て後ち衰ふと
 いふ嚴則に背かない様に余程前後に反目し注意の上に注意を加へね
 ばあらぬ事と思ひます。：：彼の羅馬の如き斯土の如き印度の如く比
 々皆な然るものゝ例証澤山御坐います、就中夙に諸君の知らるゝ如
 く近頃英國の輸出商人等が世界各地の情況に通せず通商路を明らか
 にせず各地の需要も善く探究せよ又花主とあるべき人民の情態をも
 究めず去て盛んに獨逸及び亞米利加の商人等に通商を爲して利を奪
 はれたる事實の我國輸出商人の頗る戒とあり居ること、考へますか
 らして是等國々の二の舞を演し度ないもので御座います。：：尤も斯
 る失敗を招ひたる原因の右の如く種々の事情ありて然るものと考へ

ますれど、到、屆、其、國民、の、進、取、活、潑、の、氣、象、に、乏、し、き、情、民、の、詐、り、の、免、か、れ
ないこと、を、あ、ら、う、と、思、ひ、ま、す、、、猶、ほ、之、が、原、因、の、中、に、は、生、存、競、争、即
ち商權の侵入及び掠奪を他國人より受け居るもの、多きに歸するなら
むと云はざるを得ませんからして俗に所謂油斷大敵と云ふを始終忘
れない様に致したいもので御座います、

凡そ天下の事物一利一害は定則であつて一長一短は人事の幾んど避
け能はざるものと觀念致しますれば、世間の出來事には無頓着で毫
しも意に介さなくても至極氣樂なもので御座います、假令は昨年の
如く到る所洪水氾濫して良田を流没し菜穀を蕩尽するは堤防を築く
の勞を取らざるが爲めである惡疫の流行して幾萬の人民に無辜を與
ふるは衛生の注意を怠りたるのである、或は盜賊の横行するは法律
裁判の寛大ある爲めであるとして之れを顧みませぬ時に天下の事
讀者の腦髓を煩はさなくても済むと云ふ様なもので御座いますが、

今日の社會の最早此の如き單簡疎薄を判斷を以て安心して暮す時代
でなく能く其根源を探究して杜絶の策を講せなくては今日の人心を
安んずることの出來まいと信じますからして私の社會の出來事を平
氣の平左で望見して居る譯にも行かず殊に自國の事と來ては黙して
居られませぬ、ソコテ一國の興廢盛衰は獨り亂世の時に在りて不幸
の變動を被ひるのみならず治平の世に在りても亦社會經濟上の變動
より一國の幸不幸となる其例證の渺なからむもので御座います、十
九世紀の今日は殊更社會經濟上の變動より怖ろしきものは御座いま
すまいと考へます、既に未開の時代に繁華を極めたる都市も或は鐵
道布設の爲めに土蜘蛛の棲所となるを免かれ難き事實か湧て参りま
す、之れを例へば從來東海道五十三驛には一驛十戸宛の旅舎ありと
假定せば其總數五百三十戸となるべし而して一戸平均五人宛旅人の
爲め奔走給仕せしものとすれば二千六百五十人の多に上り又更ま

一驛百人宛の雲助輩ありと假定せんか即ち此輩は五千三百人の生活を保ち其他繼立所の馬丁馬匹に至る迄一々總算すれば如何に僅少に見積るも一方人以上の人は旅人の爲めに衣食せしや疑を容る、事の出来ぬ御座いませう、又當時は彼の各藩々の泰勤交代の爲めに繁華を極めたるに相違御座りますまい、然るも今日海上瀛船の便を得、陸路中仙道木曾等の鐵道貫通したるが爲めに彼の五十三驛の旅舎の寂然として業を棄て且つ無用の勞力者を生せしめたと云ふの取も直さず社會の進歩すると同時に經濟上の變動を被むりたる結果で御座いませう、左れば社會進歩の如何を問はず之れを放膽に附し去るを止め其進歩と共に將來一國の經濟は着目し之れと隨從するの覺悟を有せねばならむと考へます、

さて商業社會の未來は如何で有ふかと考ふるに之れより内外の交通頻繁なるに至り早晚内外國人雜居の場合となれば我が國の商業社會

には非常の變遷を來すに相違ありません、其時に至らば我が日向國へも好んで居を占むるでせう……果して此場合となれば彼れ資本にも富み諸般の事業上にも餘程の經驗を有して居りますれば彼れ一たび内地に入りて諸般の事業に當る時我か國の商業上杯に非常に影響するに違ひ御座いませぬ、若しも我か國の商人等が一奮發しあひ時は我が商業社會の動もすると外人の壓倒を受けて非常なる不利不幸を醸すに至るかも知れませぬ、此時に際り殊に彼の暖國情民の唱を除かず悠々不斷として彼れに當らんとするも彼れ緊要なる場所陣取りし然も豊富なる資本を卸し熟練なる伎倆を以て盛大なる事業を起し國の利益を擧て吸取せらるゝに至り茲に始めて目を醒すとも葬式後の醫者詐りと一般到底彼れが從僕たるに過ぎずと、私の理屈は敵あさに弓を引くに等ししかわ知らぬと斯く豫想致します、説て爰に至り彼の商權も之れと同時に勢ひ彼れの掌握する所となる

に違ひないと想ひ回せば轉た落涙に堪ぬあくなつて参りました……上來述へ來りたる所に據て考へて見ると今日の社會は商權掠奪主義即ち平和の戰場かと思ひます……此戰爭に臨むに如何なる利器が入用であるかと云ふと所謂一國の富裕より外は御座いますまい、社會學者杯は法律一統の世の中と説きますあれど社會の氣運ハ腕力爭奪の氣運即ち優勝劣敗の世の中と違ひ御座いません、其戰艦兵士の多き者は勝ち戰艦兵士の寡き者の敗ると云ふは取る直さず富の競争であつて、夫の歐洲列國の如く表面に盛大なる武備あるハ必らず其裏面に於て生産機關即ち富の充分なるのである、苟くも一國富裕なれば彼に先つて之れが武備を修め彼れに倍するの軍艦兵士を養ふ事も出來ませう、要するは一國富裕なれば戰艦兵力の集る所となり、戰艦兵力の集まる所勝利權力の歸する所となるを信じます……然らば今日平和の戰爭には如何ある利器が必要であるかハ私の言ふを俟す

生産機關を旨く運轉して之れより富を得る事が第一明らかを要素であらうと考へます、是より進んで我が立國の本源に就き陳辯致す所存で御座いましたか餘り冗長になりますから之れは他日に譲る事と致します、兎にも角にも世界の趨勢は總て商略的に進行して來たにハ相違御座いません、幸ひ我が國は東洋の極東に位置を占め其版圖僅に三万二千方里之れを歐亞大陸と比較すれば掌大黒子に過ぎませんが、其位置が便宜で御座いますから將來東洋貿易の中心となるべき運命を有えて居ると考へます、既に彼の商工業對外策の事に就き有名なる稻垣滿次郎氏が昨年或る演場に於て十九世紀の今日全世界の大勢は商略的と出で其商業の中心地の漸次東洋に向つて進行し西比利亞鐵道の貫通も今より五六年を出すして落成し次で「パナマ」運河の通する曉は我が日本は恰も世界問屋の地位に立つもの、御座いますから、日本人たるもの、今より豫め其覺悟を有せねばならむと

痛論しました、實に氏が卓見の通りで御座います……諸君今試みに首を延して四境の光景を見給へ、何れも皆な我れを促して東洋貿易の中心たらしめんとする傾きがあるでせう、一葦海を隔つれば百五十餘萬の大土、載るに四億万の人口を有する支那國が御座いまして、賣買すべき物産は山の如く丘の如く御座います、又轉じて南洋諸島を望むと新開の邦土且つ人口日々に蕃殖して亦賣買すべき物産の山の如く丘の如く御座います、更に轉じて大平洋の向岸を望むと我が最も親むべき北米合衆國があつて我と提携して東洋貿易の中心たらしめんとする傾が御座いませう……嗚呼此の如き前途好望なる地位形勢を有する國柄でありながら若しも此の東洋貿易の中心たる事の出來あかつた時の果して誰の責で御座いませう……素より我が日本は狭小黒子の小國でありますが決して憂ひとするに足らないと考へます、何んとなれば彼の古昔に在りて希臘タイルの如く今日に在

りて自耳義の如く伊太利の如く英吉利の如き其面積を擧ぐれば或は我れと倍伸し或は我が二分若くは三分の一に過んせせう、夫にも拘はらず世界の百貨集幅し却りて大陸の諸國を壓倒する所以のものは其れ果して何故で御座いませう、是れ全く位置の便利かと思ひます、然るも此の天祐を稟け國家の運命を左右するものは亦果して誰の責で御座いませうか、茲に至つて私の商業であると斷言するを憚りません……左れは國家の運命を負擔し競争場裏に立て勝利權方の歸する所に由りて國家を豊富ならしむるものは商業であると考へます……今日の商賈豈に奮起せざるを得ん大責任を有したるものと覺悟せねばあらむで御座いませう、
上來説て茲に至らば諸君も定めて説の身近なるにも拘はらず其趣旨の存する所あるを了知せられたる事と考へます……然れども私は政治上に關したる意見の申じません、又茲に述ぶるの必要が御座いま

せん、なれど前陳の事柄の我々商人の身分と雖も豫て服膺して居らねばならむと、考へますからして喋々數長演説を致すの止むを得ん次第で御座います、併しながら私の先づ他は兎も角我が日向と云ふ國に對し曩に陳述したる商權擴張策に就き主に意見を有するので御座いますから、是より一步を進めてこの擴張策の事に關し一の方按を設けて普く之れを日向人士に向つて訴ふる心得なれど余程入組んたる組織上の御咄しに付き次の登壇に於て縷々述ること、致まませう、

第二席

扱て前壇に於ては我が全國及び日向全般の事に關し其大要を演せども今より進んで私の昇見を開陳するに際り種々日向將來の事に就き有する所の私見澤山御座いますが、先づ今日日向國生産物の上に關

し之れが密接の關係を有したる大阪蓋し英國に於る「マンチストル」即ち商業の中心点に對し最も日向物産販賣上の弊害ある事を看破致しましたから、其事の大小廣狹を論せず苟くも之れが弊害ある要點に向つて之れを矯正するの策を講せざるを得ん目下焦眉の急なる次第柄が御座います、故に之れを諸君に訴ふると共に是非の判斷を請はなければならんことが御座います……

私も種々の關係より去て大阪に足懸け四ヶ年往復する事となりまして、此間何かな一の間直接に拘はらず我が日向の利益となることを發見致し度ものと熱心に注目しては居るもの、商業の事柄に就き經驗少なき事故その利ある点も之れを悟るとの得ませんのみならず偶々考按を作る事の有る未だ其時機を得ませんたが爲に日向物産の販路擴張及び販賣上に關する實地の調査位を致し居つたに過ぎませんでした、然るに私の斯く杞憂を懷きましたは兎角物品販賣上に於

て其方法の正確を得ませんから、折角汗水流して製作したる貴重の物産も其効を失し直接日向の經濟に影響を醸す事のおさを疑ふて居た譯で御座います、今私の考按を述るに際り諸君に心證を願ひ置度事は一言一句責任のあい事ハ吐ぬと云ふ誓言で御座います、其方接の可否取捨ハ素より諸君の意に一任するは勿論の事なれど事實上の調査に至つては毫し餘地のない積りで御座います、凡そ世界商業を以て立つ國々の商家にハ皆な組合を設け悉托販賣の物品には殊更嚴重の方法に據ると云ふことで御座いますが、我日本商人にハ未だ委託販賣の實際に行はれてないから外國人の嘲笑を受け居ります、此の實行の出來ないのに種々の原因が合んであるが何に致せ早く其實を擧げたいもので御座います……ソコで日本商業地の中心なる大阪商人の實際はどうであるかと云ふに實に不都合のもの多く是がため偽々輸出するもの即ち荷主の不幸は言語同斷の

始末で御座います、私も此の悉托販賣の事に就き種々の取調べをして見ますに今日の弊害實に甚たしく若し延ひて永久を保たんには日向の如き海上二百餘里もある遠國の商人は安心して京阪地方の商人等に貴重なる貨物の悉托販賣は誠に危険極まつて到底出來ないと考へます、今一例を擧げんハ材木の如き木炭の如き總て荒荷に屬するものは多くの地方爲換取組の不便宜より之れを依頼爲換と爲し假令は百圓爲換附の物品なれば其半額即ち五拾圓は其荷物積入れの船長に渡金する事として而し該物品を荷上げせしむるは問屋商の自由に歸せしむるが習慣となつて居ります……又荷主ハ京阪市場の商況に疎きが爲めハ意に背きたる爲換を船長に依頼し船長ハ荷物送り先の問屋商に向つて之れを要求し果して其要求に應ずるや否やの模様を見て始めて市場の商況動靜の如何を探知するの弊害が御座いまして能々考へて見ると實に危険迂遠な仕向けと思ひます、夫故にいつも

双方の衝突甚だしく云の、睨み合であつて圓滑平滿の要素を失し爲めに招く不利不便は其幾許なるを謀り知るその出来あひ諱せう、要するに問屋と荷主との間は恰も車の両輪の如く相幫助して進行すべき密接の關係を有すべきものなるにも拘はらず實際此の如き有様なれば速に此の弊習を一洗するに若くはあしと斷念致しました、故に私の素懐の一國の荷主團結して濫賣の弊を矯め一の會社を設立し此の會社の下に總ての荷物を運送し附賣入札の二法より其物品を販賣するの正確なるに勝るものなしと思ひますれど、これの一朝一夕に行はれ難い事と考へますから之れは第二の手段に置き漸々時機の來らんには諸君もこの必要を自明自得せらる、曉よ於てするも決して遅からまじと思ひます、全体私も斯る一足飛の改革は欲しません、漸を積み序を逐て進むと云ふ事は最も商業界の必訣であつて所謂實業の漸進に利益あるの經濟原則に基づく事で御座いますせう……先づ

私が今回の目的は茲より日向物産取引所とでも云ふ機あるものを設けて之れを産物販賣地即ち大阪に置き各荷主の同盟若くは依頼人の物品を販賣するに際し此の取引所をして諸般の監査を爲さしめたらんに彼我取引上の便利を助くるのみならず大に物品販賣上に對し正當の取扱を爲す器械的一策にていなきかと急の最も急なる場合に所するもの、接出を致しまして即ち左に其方法を假定し之れを諸君に諮らんと欲する所以で御座います。

日向物産取引所設置の要領

第壹 本取引所を大阪市に置き日向物産の販路を擴張すると同時に委託販賣の弊害を矯正するに勉むる事

第貳 本取引所に有志者及び同盟荷主の代表者となるものなれば之を日向物産取引所と稱し總て販賣

品其他諸般の商事に關する監査を爲す事

第三 本取引所の役員は同盟荷主に於て之を撰定し

其役員は本所の規則に従ひ各事務を分擔する事

第四 本取引所創立の費用は有志者及び同盟荷主に

於て之を負ひ尙ほ將來維持の費用は各荷主に對し

規定の手数料を以て之に充る事

第五 本取引所内を爲替部を置き着荷に對し其荷主

の需めに應じ金融を爲す事

(理由) 徒來荷主より送附する荷物に對し問屋より爲換金を振替

置くの慣例あるが此方法の物品販路の自由を拘束する等荷主に

於て大に不利益なるものなり何んとなれり一旦問屋へ持込みた

る荷物を他へ移さんとする場合あるも人情に制せられて其儘に

附し去らざるを得んことあればなり、蓋し素と束縛的方法を甘

受して取引したる不結果たるを免かねざるべし其他の弊害は問

屋の爲換振替金に對し相當の利子を附すべきは勿論の事なるに

物品賣捌の後仕切勘定に臨み其目錄を一切是等利子の記載なき

は甚だ疑似の生ずる点ならん想ふに此間暗々裡中多少利する所

るなくして斯る公然の利子を抛棄する利あらんや是れ全く商權

の掌握を受け且つ委託販賣の實を失ふたる不正の所爲と云はさ

を得せ此弊害や一の習慣を作り竟に荷主と問屋との間を於て何

目も平和を欲さ或は爭論の原因となり或は双方相睨視する等の

有様となりぬ左れば荷主は僅々一二百圓の委託取引に對し態々

二百餘里の遠路より上陸して之れが整理を爲す等其不利不便な

る枚舉に遑あらず實に痛歎の至りならずや故に今回本取引所を

設くると同時に爲換部を置き問屋に持はらず着荷に對し別途爲

換の融通を爲し總て徒來問屋に係る面倒を避け且つ之れが弊害

を除却せんとするに在り

第六 本取引所内に通信部を置く事

(理由) 商業頻繁の地に在りてハ信用通信者なるものありて大に彼我の利益を幫くことあり之に反して通信者なき商業界にハ意外の損害を被むること尠しとせず蓋し商業通信は一は以て商勢の活機を知らしめ信用地位の如何を察知せしめ或ハ奸商の密計を防捍する等總て彼我の中間に在りて利益を興ふること其幾干あるを知る能わさるのみならず之れが爲め誠實の行へる、に至るべし故に本所内に通信部を設け諸般の通信を迅速ならしめんとする所以なり

以上假定の方接ハ甚た單簡にあつて且つ杜撰卑見は免かれないでせうが、苟くも多額の産物を輸出する國々に在りては一の基礎を確立して競争戦裡に向ハなくてハ勝を制することの期し難いものと思へ

ます、況して我が日向國杯は商業中心に遼遠なる一孤島加之從來より弊害の多々益々作り出し容易に其痕跡の消ぬをい折柄ですから斯の如き急策を以て之れに當らぬ事ハ到底商權の挽回と云ふ様を高尚な議論は兎も角利益を得る事の難い世界の状況に向ふて参りました、又かくドシ／＼仕掛けて行たから期せずして商權の回復も出来ませうかと考へます……既に先哲も凡そ物其權衡を保たざれば事の大小に拘はらる衝突争擾を惹起すは必然であると思ました、實に其通りで御坐います、今や日向物産の荷主と問屋との間の能く權衡が保つて居りませうか、甚た覺束をい否な決して保つて居りません、果して然らば速に之れが改良策を講せねばならぬ事を考へます……併しながら目今一雨毎に新會社の増加する有様で御坐いますが、中への事實を後として會社を先とする等先後撞着の組織から折角有志者の計畫も畫餅に屬し敗北するもの、あるを常と耳朶に觸れますが

若し最初之れを計畫するに際り十分事實の取調を爲し而て十分の責任を有したらんには始めあつて終を全ふせざる様の不結果不手段のなからうかと信じますから私も可成此の如き不手段は避けたいもので御座います。

今少し議論を進めて陳述せんに兎角商業界の仕事には一も二も掛引の方便と云ふことが肝要であらうと考へます、元來荷主が物品を賣に行て利益を得んとする事の却りて不利を招くもので御座います、如何となれば物其物を賣るの目的を以て行からえて必らず賣ればならぬ必要があるでせう、之に反して來るものを買ふの目的を以て來ますからして必らず其品の需要あるに違ひ御座いますまい、左すれば其權利と得失との何れが重さか何れが輕さかは識者を俟ずして知れませう、再び之れを言換て見ると賣に行くは買に來るに加ざるのみならず却りて害あるを知るに至らんと信じます……果して前陳

の理屈が諸君の腦髓に徹底し同感を得るものとすれば各荷主の代表者即ち日向物産取引所設立の必要あるものと信じます、希くは私の哀情を採納せらる、諸君は大に此の擧の進行をして速達おらしむるに贊助あらんことを敢て企望に堪へません、終りに臨んで諸君に一言呈し置きたきは素と私の一青年に拘はらず大膽不敵よる斯の如き大擧を企つる其實や實に重いと信じます、然れども其精神は正眞潔白毅然として一個の眞領を存し義侠大節を有したる積りで御坐いますから毫も責任の正義に背かないことを期して置うと思ひます……惟ふは今より諸君と相提携して國家の爲め日向國の爲め國產の上に致富の上に熱心尽すに誠意秩序的の運動を以て始終を貫通致したい存念で御座います、是れ私が四ヶ年間京阪地方を往復せし一土産と見認め給へば私の光榮で御座います。

明治廿六年三月六日印刷
全 年三月七日出版

演說者兼
發行人

大羽豐治

宮崎縣日向國東臼杵郡北浦村
大字三川內村百六十二番邸

印刷者 山口恒七

大阪市南區末吉橋通四丁目
四十三番屋敷

19
366

